

2019年5月31日

株主各位

新興プランテック株式会社
取締役社長 吉川 善治

ISS社の推奨レポートに関する弊社の考え方について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2019年6月21日開催予定の第115回定時株主総会の第2号議案「取締役(監査等委員である取締役を除く)6名選任の件」における候補者番号1番の吉川善治氏に関して、Institutional Shareholder Services, Inc. (以下「ISS社」といいます)が、反対を推奨しているとの情報を入手しました。

つきましては、当該レポートに関して、下記のとおり弊社の考え方について説明させていただきますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. ISS社の反対推奨の内容

ISS社のレポート(2019年5月28日付)によると、2019年6月21日開催の第115回定時株主総会後の時点では、当社の取締役会は7名の社内取締役と3名の社外取締役で構成され、監査等委員会設置会社に対するISSガイドラインにおける3分の1以上の社外取締役基準を満たしていないため、経営トップである吉川善治氏を反対推奨としております。

2. 弊社の考え方

この点、上記ISS社のレポートの冒頭において、ISS社自身がProxy Alertとして注意喚起するとおり、当社は、4月17日開催の臨時株主総会において、JXエンジニアリング株式会社との吸収合併契約承認について承認決議を得た上で、7月1日の統合日を就任日として、新たに取締役5名(内、社外取締役2名)を選任しております。そこで、7月1日の統合日においては、取締役15名の内、5名が社外取締役となり、3分の1以上の社外取締役の基準を満たすこととなります。

その次第で、6月21日の定時株主総会から期間を置かない7月1日に取締役会に占める社外取締役の割合が3分の1以上になり、社外取締役の複数選任による取締役会の監督機能の強化及びコーポレート・ガバナンス機能の強化を図っております。

以上、書面によるご説明で恐縮ですが、第115回定時株主総会の第2号議案に関する弊社の考え方について補足説明をさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、上記補足説明の内容をご確認頂き、当該議案に関して何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上